

「川西の教育」グランドデザイン

川西市教育委員会では本市の教育・保育の方向性や取組などについて、子どもたちや保護者、職員、そして市民の皆さまに広く伝えていくために、「川西の教育」のグランドデザインを作成しました。

このグランドデザインは、川西市や川西市教育委員会がどのような教育・保育を目標にしているのか、そのためにどのような事業や取組を行っているかということ、「見やすく」「分かりやすく」デザインしたもので、学校園所の先生方と協力して編集しました。

これからこのグランドデザインに示すテーマをキーワードに、子どもたちが主体的に学び続ける教育・保育をより充実できるよう実践を進めていきます。

石田 剛 教育長からのメッセージ



「グランドデザイン」とは、めざす理想の上での長期的・大局的な計画のことを言います。川西市では2024年3月に「川西市教育大綱」を策定し、今後の教育・保育の大きな方針を定めました。その大綱に基づき、2024年度からは、

- ◎ 子どもたちを主体とした教育・保育を推進する
- ◎ 学びの専門家として、主体的に学び合う『同僚性』を高める
- ◎ 課題を先送りせず、将来を見据えた教育・保育のあり方を協議する

の三本柱を軸に、教育委員会・学校園所が創意工夫した実践を進めてきました。

今回、これらの実践を「学びの道標(QUEST)」として、グランドデザインに取りまとめました。子どもたちの学びや遊びとともに、教育保育職員の実践も含めた活動を「冒険・探究」になぞらえ、共に学び合う基盤として活用されることを期待しています。

「川西の教育」グランドデザイン検討委員の声



川西市の教育保育が大切にしていることが保護者・職員・地域の方々と共有され、川西市に関わる全員で子どもたちが笑顔に過ごせる未来を創っていきたいです。

だれもがいきいきと自分らしく学べる「QUEST」が、子どもたちにとって新たな世界を広げていく道標になることを願っています。



「QUEST」を考える際に、様々な校種の先生方の取り組みや方向性などを知る機会があり、違う視点の意見や考えにとっても刺激を受けました。「QUEST」が川西市全体に分かりやすく伝わり、教職員も自分達がしている事を語れるようになればと思います。

編集

「川西の教育」グランドデザイン検討委員会

石本 朱美 / 石田 真愛 / 大畑 聡 / 田中 沙羅 / 伊瀬知 由起 / 平尾 隆太 / 濱岸 美佐子 / 世良 和史 / 森 優太 / 西内 健弘 / 山崎 岳 / 成田 直 / 大野 貴史 / 星野 圭祐 / 辻 常路 / 東 摩耶 / 岡崎 薫 / 酒井 恵 / 山本 良佑 / 帯刀 高史 / 林 真由

川西市教育委員会事務局 広報戦略プロジェクトチーム

榎本 竜也 / 野田 悠介 / 橋本 悠樹 / 山本 稔也 / 西川 聖美 / 山平 成洋 / 刀禰 雅子 / 高橋 隆一 / 山下 妙子 / 松村 陸

発行

川西市教育委員会事務局 教育推進部

〒666-8501 兵庫県川西市中央町12-1



072-740-1254(教育保育課)

平日:9時~17時

「川西の教育」グランドデザイン

学びの道標



2025年4月

川西市教育委員会

QUESTION

まなぶ ～学びのレベルアップ～

一人ひとりが学びに没頭しながら、自分も仲間もレベルアップしていきます。

子ども主体の教育・保育の推進

従来の一斉講義の授業だけではなく、子ども自らが「問い」を持ち、学ぶことが大切です。例えば、探究的な学習や教科横断的な学習等、多様な学習方法により子ども主体の教育・保育を推進します。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

主体的・対話的で深い学びを達成するため、アナログとデジタルのそれぞれのよさを活かして、子どもたちの「個別最適な学び」と「協働的な学び」を推進していきます。

子どもが夢中になる遊びを実現する保育
異学年学習 / 放課後学習支援 / 自由進度学習
オンラインによる国際教育 / 劇を活用した表現学習

UNITE

つつむ ～豊かな仲間とともに～

ありのままの自分、多様な仲間、誰もが大切にされ、関わり合って育っていきます。

多様な学びの場の確保

教室での学びのみではなく、校内サポートルームや学校外での学びのスペース「セオリア」、オンライン学習等、誰もが学ぶための場所と選択肢を確保します。

インクルーシブ教育・保育の推進

集団及び個々の教育的ニーズに応じた配慮や支援、ユニバーサルデザインの視点を活かした教育・保育など、一人ひとりが自分のよさや可能性を認識し、違いや失敗を認め合える集団をつくっていきます。

0.1.2歳児の育児担当制保育 / 「子どもの人権」学習会
自立活動や通級指導の充実 / 切れ目のない支援体制の構築

QUEST

学びの冒険に出発

学びは、みんなが同じ道を進むものではなく、自分のルートを見つける旅。「QUEST」は、そんな多様な学びのあり方を大切にし、みんなが成長できる環境をつくる取り組みを表しています。

ENGAGE

たずさわる ～一人ひとりが主人公～

誰もが主人公だからこそ、自らの権利を知り、思いを語り、自分たちの生活を創っていきます。

子ども自らが創る生活

子どもの日常生活において、例えば運動会や生活発表会、卒園式等の行事、校則等のルールメイキング、教育課程の内容等に対して、自ら関わり、意見を表明し、仲間と創り上げる経験を積んでいきます。

子どもと教育委員会の意見交流会

子どもが自身の意見を表明する機会を通して、学校や社会の一員としての当事者意識を育み、次世代の民主主義社会の担い手の育成を図るために、子どもと教育委員会の意見交流の機会を持ちます。

学級活動や児童・生徒会活動をはじめとした特別活動の充実
デジタル・シティズンシップ教育の推進 / 給食献立意見交流会

TRANSFORM

ととのえる ～学びの冒険を支える～

ほっとしたい時や挑戦したい時、一人で頑張りたい時や仲間と協力したい時、子どもたちの心に寄り添い、育つ環境を整えていきます。

多様な育ちや学びを支える環境

ICT機器の拡充など、子どもの気づきや疑問に即応できる環境を整え、子どもにとってよりよい学びを提供するだけでなく、教育保育職員による子どもたちへの豊かな支援につなげることを目指します。

子どもに伴走する学校園所

子ども主体の教育・保育活動に取り組む学校園所や教育保育職員等の実践を市全体へ広げることで、市内の教育保育職員が主体的に学び合う同僚性を高め、子どもとともに学ぶ学校園所を目指します。

教育保育職員の資質能力向上に資する研修 / チーム担任制
学級および学校規模の検討 / 柔軟な教育課程の編成
中学校での少人数授業の推進 / 放課後の居場所づくり

SHARE

つながる ～出会いを拡げ経験を紡ぐ～

素敵な出会いはあちこちに。地域を中心とした川西市全体が子どもたちの育つ場でもあり、活躍する場でもあります。

就学前・小・中の交流や連携の強化

子どもたちの豊かな育ちが連続してつながるように、市立園所ならびに認可された民間園所と小学校の連携を強化するための連携校園所を制定し、「川西市架け橋期カリキュラム」を作成することで、異校種連携を充実させます。

部活動の社会移行

生徒のニーズが専門化・多様化していることに加え、今までと変わらない活動を行えるよう、また、新しい活動に挑戦できる環境を整えられるように、持続可能な形として、部活動の社会移行を進めています。

地域の方との関わり(ボランティア・ゲストティーチャー等)の推進
民間との連携 / 体験活動の充実 / 学校運営協議会の充実